

Business Report

第72期 株主通信

2015.4.1 ▶ 2016.3.31 2016年3月期 決算のご報告



Next to your future

当社は、ロゴマーク及びコーポレートステートメントを
リニューアルしました。

八洲電機株式会社

証券コード：3153

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、第72期(2015年4月1日から2016年3月31日まで)における営業の概況並びに決算の内容等についてご報告申し上げます。

当連結会計年度は引き続き厳しい事業環境にあり、連結売上高は783億円と減収になりましたが、エンジニアリング力の強化による付加価値の高い案件に取組んだ結果、経常利益は20億円と増益になりました。

また、配当につきましては、株主の皆様にご感謝の意を表すために創立70周年を記念いたしまして、2016年3月期の期末配当において、1株当たり2円の記念配当を実施させていただくことといたしました。

さて、2016年4月より『第14次中期経営計画』がスタートしました。

その『ビジョン』と『重点施策』は次のとおりです。

《ビジョン》

付加価値の高い環境技術・サービスを提供し続ける
エンジニアリング会社を目指し、お客様とともに未来を創る

《重点施策》

- (1) ソリューション・エンジニアリング力の強化
- (2) ビジネスネットワークによるビジネスチャンスの拡大
- (3) グループ会社の収益力強化と事業領域拡大

これらを主軸とし、今後の安定的・継続的な成長を可能とする事業モデルを確立し、最終年度(2018年度)の業績目標として、

- 連結売上高 900億円／●連結経常利益 26億円／
- ROE 8.8%を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長

太田 明夫

経営理念

「信・愛・和」

信は、「社会に信用・信頼される会社」

愛は、「社会に奉仕する会社」

和は、「社会に協力・協調する会社」を表します。

経営ビジョン

クオリティの高いサービスを通じ

お客様とともに

価値を創造するベストプランナーとして

環境配慮型社会に貢献する

ロゴマークとコーポレート・ステートメントを制定しました。

当社は本年、創立70周年を迎え、さらなる企業価値向上をはかり、お客様や社会にとって、未来に向けて進化し続けるための道標でありたいという想いを込めて、新しくロゴマークとコーポレート・ステートメントを制定しました。

1 ロゴマーク

経営理念である『信・愛・和』をイメージし、読みやすく親しみやすいトーンの書体と『信用・信頼・誠実』を表すブルーを採用し、さらにクリエイティブな未来にチャレンジしていく情熱を表すレッドの円環を重ねることで、創業以来築き上げてきた伝統とスタイルを継承しつつも、常に未来を見据えた姿勢を表現しています。



2 コーポレート・ステートメント

お客様とともに価値を創造するベストプランナーとして、関わる全ての人々に寄り添い、ともに可能性がある未来を切り開いていくという想いを表現しています。

Next to your future

3 コーポレート・ステートメントロゴ

ロゴマークとコーポレート・ステートメントを組み合わせで一体化したロゴで、経営理念『信・愛・和』のイメージとともに「未来を切り開いていく」という強い意志を示しています。





鉄鋼・石油・化学・エネルギーなどの
プラント分野に最先端技術で貢献

事業内容
省エネ化、高効率化、老朽化に伴う設備管理の充実といったニーズに、最新のメカトロニクス技術や制御技術などを組み合わせたシステムを提供しています。

主要取扱製品 鉄鋼システム、自家発電設備、受変電・配電設備、圧延設備、電機制御、生産管理システム、これらに関わる保守・メンテナンスサービスなど



医薬品・紙パルプ・機械・電気機器・精密機器
など幅広い産業界の技術革新に貢献

事業内容
空調・冷熱・圧縮機などの環境制御、省エネに配慮した照明、ITソリューションなど、「安全」「安心」「信頼」の確保・推進をより具現化した製品システムを提供しています。

主要取扱製品 空調設備、ビル遠隔監視システム、照明設備、セキュリティシステム、受変電システム、電力監視システム、これらに関わる保守・メンテナンスサービスなど



安全・安心・快適な暮らしを実現すべく
環境と人にやさしい技術で社会に貢献

事業内容
公共分野では、社会生活基盤を支えるインフラの整備・構築を手掛け、運輸分野では鉄道事業各社のニーズに幅広くお応えしています。

主要取扱製品 公共システム、空港関連システム、上下水道設備、鉄道関連システム、受変電システム、ホームドア、信号システム、これらに関わる保守・メンテナンスサービスなど



先端技術のソリューションを実現し
社会に貢献

事業内容
デジタル化・IT化が目覚ましく進展する社会生活のなかで、根幹を支える半導体や表示装置など様々な最先端デバイスのサプライヤーとして、社会の発展に貢献しています。

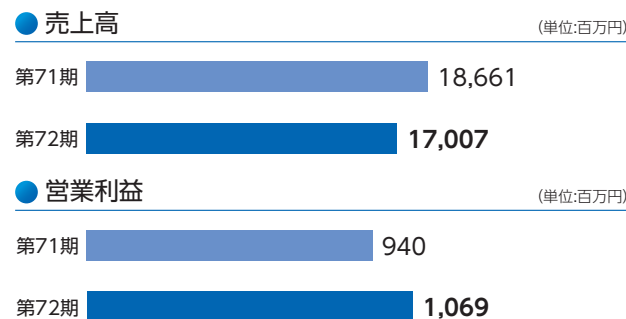
主要取扱製品 マイコン、アナログ半導体、メモリ、IGBT、液晶、電池、センサ、FAネットワーク用通信モジュール、産業用組込みボード

CLOSE UP!

YASHIMAの概況

鉄鋼・石油・ガス業界のお客様に対し、電機制御エンジニアリング、プラント機器工事、発電・受配電設備、省エネ等のトータルエネルギーソリューションを提供しております。環境保護への配慮とともに、お客様の生産性向上と合理化に貢献しております。

大規模工場向け高天井LED照明設備の導入を積極的に推進しております。

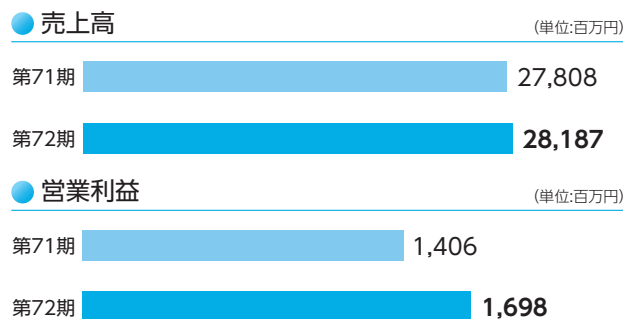


CLOSE UP!

YASHIMAの概況

お客様の環境・省エネニーズに応え、高効率産業製品やLED照明・空調製品等節電効果の高い設備や電力監視システムを提供しております。さらに施工・保守・サービスまで一貫して提供し、循環型ビジネスを実現しております。

業界トップクラスのAPFを実現する「高効率ビルマルチエアコン」。冷暖同時型と冷暖切換型の豊富な品揃えでビル空調の省エネ化に貢献します。

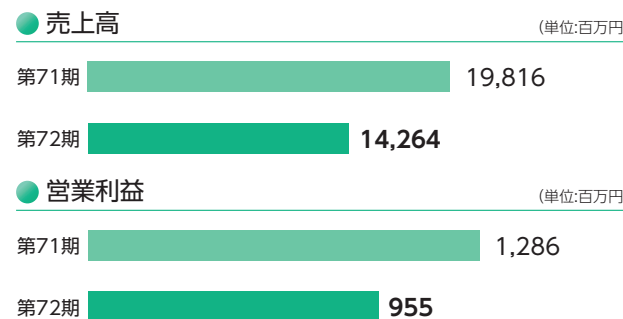


CLOSE UP!

YASHIMAの概況

再生可能エネルギーとして注目される水力発電は24時間発電可能なため、安定的な電力を供給する事ができます。農業用水路を中心に設置場所に応じて設計・施工・メンテナンスをお客様に提供し、環境・社会貢献に努めております。

長野県梓川土地改良区殿納め小水力発電設備(発電規模49.9kW)

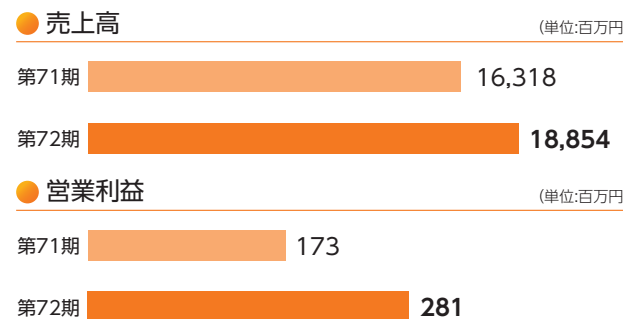


CLOSE UP!

YASHIMAの概況

回路設計の工数や開発費の削減のため、標準の組込みボードを活用しシステムを構築するお客様も多数います。これらのニーズに応えるべく、産業グレード用にもご使用頂ける組込みボードの販売、ソフトウェア構築の技術サポートに注力しております。

産業用組込みボード



2016年、当社は創立70周年を迎え、節目となる記念すべき年に重要な取組みとして、2016年4月より「第14次中期経営計画」をスタートしました。ここでは「第14次中期経営計画」について紹介します。

ビジョン 付加価値の高い環境技術・サービスを提供し続けるエンジニアリング会社を目指し、

お客様とともに未来を創る

- 重点施策
- 1 ソリューション・エンジニアリング力の強化
 - 2 ビジネスネットワークによるビジネスチャンスの拡大
 - 3 グループ会社の収益力強化と事業領域拡大

- 機能系基本戦略
- 1 業務改善等による企業価値の向上
 - 2 企業の社会的責任の遂行

八洲独自のエンジニアリング会社を目指す！

業績目標 2018年度

▶ 連結売上高

900億円

▶ 連結経常利益

26億円

▶ ROE

8.8%

1 ソリューション・エンジニアリング力の強化

基本方針 お客様の課題を解決するソリューション・エンジニアリング力を強化することで、エンジニアリング会社としての基盤を確立し、収益性向上を目指します。

- 施策**
- EPC(設計・調達・工事)の各フェーズのエンジニアリング力を高める技術営業の推進に加え、情報技術の全社展開と新エネルギーの全社推進を第14次中計の柱と位置付け、複合的な技術力の向上を図ります。
 - 海外戦略として、海外関連企業との連携強化とともに、国際調達事業の拡大を図ります。

2 ビジネスネットワークによるビジネスチャンスの拡大

基本方針 取引先や仕入先などのビジネスパートナー企業との強固な関係を継続的に維持・拡大し事業規模(領域)の拡大を目指します。

活動計画 経験・人脈・知識を活用したトップセールスにより、目標に向けて全社一丸となり活動します。

3 グループ会社の収益力強化と事業領域拡大

現在推進している技術ソリューションによる『収益力の強化』とビジネスネットワークを最大限に活用した『事業規模の拡大』をグループ一体で推進し、受注の拡大と収益の向上に取り組んでまいります。また、当社グループ各社は、自立経営による収益拡大と、事業領域拡大のための積極的なM&A・アライアンスによる戦略投資を行います。

1 業務改善等による企業価値の向上

当社グループとしてのブランド戦略の統一及び推進を図ります。さらに、新しい働き方にあったICT(情報通信技術)の整備によるワークスタイルの変革をするとともに、多様な人材の活躍支援及び推進等により企業価値の向上を図ります。

2 企業の社会的責任の遂行

事業領域の拡大に対応した当社及び当社グループ各社のコンプライアンスの徹底とリスク管理の強化をするとともに、事業継続計画に基づく社会的要請に応える組織・体制の整備を進めます。

重点施策の詳細

機能系基本戦略の詳細

連結貸借対照表

(単位：百万円)		
科 目	当 期 2016年3月31日現在	前 期 2015年3月31日現在
資産の部		
流動資産	48,278	52,996
固定資産	5,369	4,292
有形固定資産	2,051	825
無形固定資産	577	856
投資その他の資産	2,739	2,610
資産合計	53,647	57,288
負債の部		
流動負債	32,344	38,956
固定負債	4,879	2,817
負債合計	37,223	41,773
純資産の部		
株主資本	16,800	15,275
資本金	1,585	1,585
資本剰余金	1,037	1,037
利益剰余金	14,178	12,653
自己株式	△0	△0
その他の包括利益累計額	△760	△131
その他有価証券 評価差額金	258	352
退職給付に係る 調整累計額	△1,019	△483
非支配株主持分	383	371
純資産合計	16,423	15,515
負債純資産合計	53,647	57,288

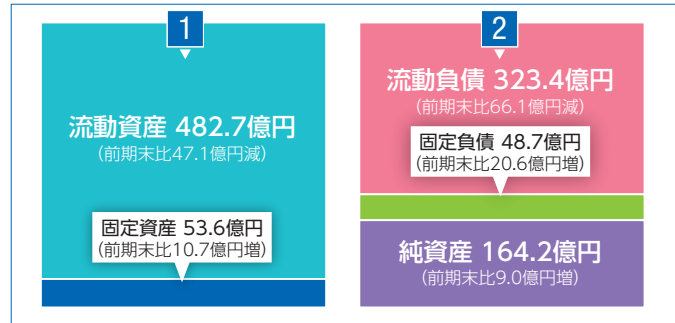
連結損益計算書

(単位：百万円)		
科 目	当 期 自 2015年4月 1日 至 2016年3月31日	前 期 自 2014年4月 1日 至 2015年3月31日
売上高	78,313	82,605
売上原価	66,863	71,242
売上総利益	11,450	11,363
販売費及び一般管理費	9,562	9,610
営業利益	1,887	1,753
営業外収益	164	144
営業外費用	42	39
経常利益	2,009	1,858
特別利益	671	880
特別損失	115	179
税金等調整前当期純利益	2,565	2,559
法人税、住民税及び事業税	675	646
法人税等調整額	39	357
法人税等合計	715	1,003
当期純利益	1,850	1,556
非支配株主に帰属する当期純利益	39	51
親会社株主に帰属する当期純利益	1,810	1,504

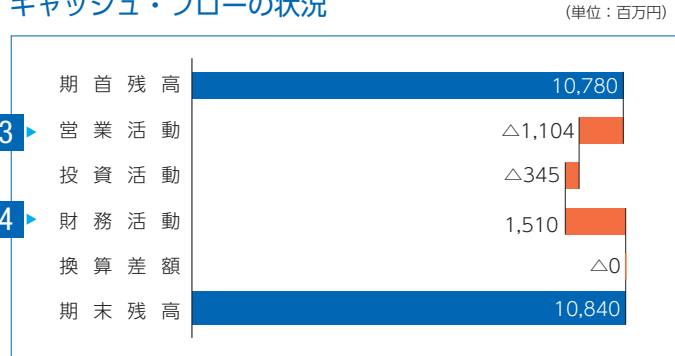
連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)		
科 目	当 期 自 2015年4月 1日 至 2016年3月31日	前 期 自 2014年4月 1日 至 2015年3月31日
営業活動による キャッシュ・フロー	△1,104	1,378
投資活動による キャッシュ・フロー	△345	△207
財務活動による キャッシュ・フロー	1,510	△173
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△0	1
現金及び現金同等物の 増減額	59	999
現金及び現金同等物の 期首残高	10,780	9,781
現金及び現金同等物の 期末残高	10,840	10,780

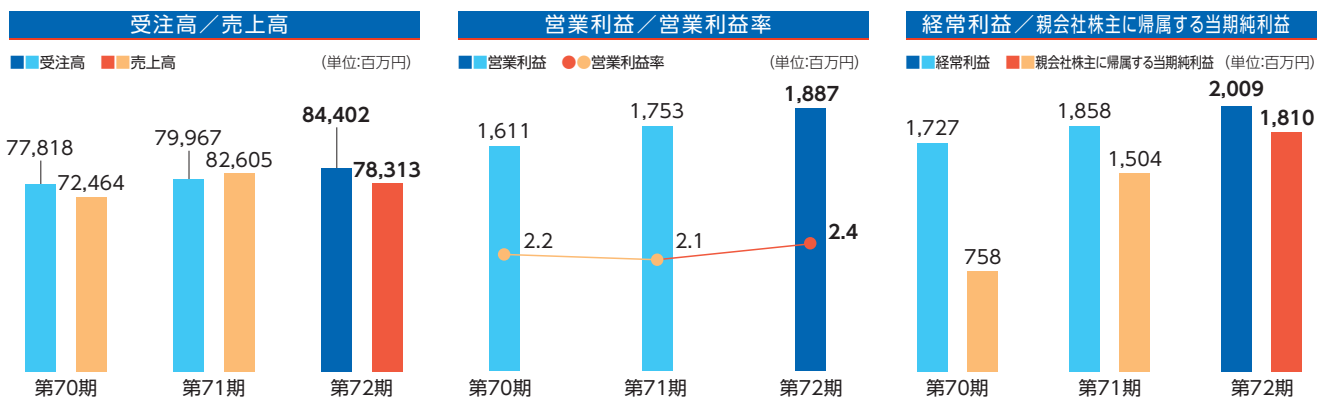
資産の状況



キャッシュ・フローの状況



財務ハイライト



ポイント解説

1 **流動資産** 前期末に比べ47億18百万円減少。
(主な要因) 電子記録債権6億25百万円増加、受取手形及び売掛金47億25百万円減少。

2 **流動負債** 前期末に比べ66億11百万円減少。
(主な要因) 未払金9億25百万円増加、支払手形及び買掛金80億58百万円減少。

3 **営業活動によるキャッシュ・フロー**
11億4百万円のマイナス(前年同期は13億78百万円のプラス)。
(主な要因) 主なプラス要因として、税金等調整前当期純利益25億65百万円、売上債権の減少額42億20百万円。
主なマイナス要因として、仕入債務の減少額79億44百万円。

4 **財務活動によるキャッシュ・フロー**
15億10百万円のプラス(前年同期は1億73百万円のマイナス)。
(主な要因) 主なプラス要因として、本社建設資金としてグリーンファイナンスによる借入19億円。
主なマイナス要因として、配当金の支払額2億83百万円。

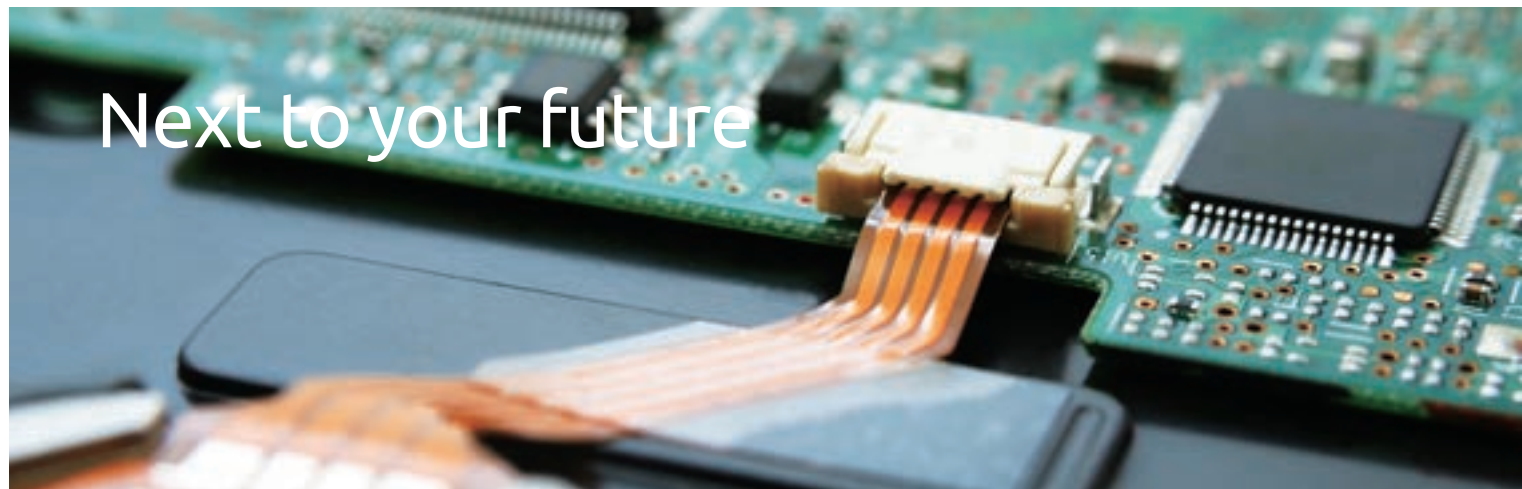
連結経営指標の推移

(単位：百万円)

	2012年3月期	2013年3月期	2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期
	通 期	通 期	通 期	通 期	通 期	通期(予想)
受注高	75,460	82,288	77,818	79,967	84,402	—
売上高	75,173	82,552	72,464	82,605	78,313	80,000
経常利益	1,813	1,569	1,727	1,858	2,009	2,150
親会社株主に帰属する 当期純利益	889	754	758	1,504 ^(※1)	1,810 ^(※2)	1,280
純資産額	13,768	14,238	14,180	15,515	16,423	—
総資産額	49,088	48,296	52,071	57,288	53,647	—
有利子負債	881	715	593	828	2,646	—
1株当たり純資産額(円)	614.15	634.85	631.02	695.28	736.41	—
1株当たり当期 純利益(円)	44.52	34.65	34.82	69.07	83.13	58.77
自己資本比率(%)	27.25	28.63	26.39	26.43	29.89	—
ROE (%)	7.06	5.55	5.50	10.42	11.61	—
フリー・キャッシュ・フロー	190	159	3,041	1,170	△1,450	—
従業員数(人)	956	935	955	970	995	—
1株当たり配当額(円)	15.00 ^(※3)	13.00	13.00	13.00	15.00 ^(※4)	13.00
配当性向(%)	33.69	37.52	37.34	18.82	18.05	22.12

(※1) 2015年3月期の親会社株主に帰属する当期純利益は、土地及び建物の一部譲渡による特別利益を含んでおります。
(※2) 2016年3月期の親会社株主に帰属する当期純利益は、負ののれん発生益による特別利益を含んでおります。
(※3) 2012年3月期の1株当たり配当額15.00円には、東京証券取引所市場第一部指定の記念配当2.00円を含んでおります。
(※4) 2016年3月期の1株当たり配当額15.00円には、創立70周年の記念配当2.00円を含んでおります。

■ グループ会社紹介 ▶ このページでは[八洲電子ソリューションズ株式会社](#)を紹介いたします。



「お客様の飛躍に寄与できる価値を提供します」

八洲電子ソリューションズ株式会社は、組込み技術へのエンジニアリングソリューションの強化により、電子業界特有のスピードに対応し、先端技術を駆使してお客様の要求にお応えするため、2016年4月に当社の電子デバイス・コンポーネント事業を分社化し、100%子会社として設立しました。

暮らしを豊かにする家電から社会インフラを支える産業機器まで、幅広い分野でルネサスエレクトロニクス製品、日立パワーデバイス製品を中心に液晶モジュール、電池、センサ、受動部品等、様々なデバイスを供給するサプライヤーとして貢献し、多様なソリューション提案を実現いたします。

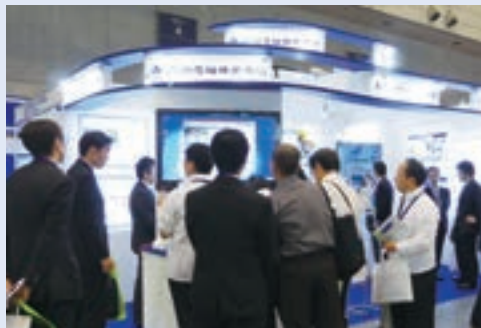
これからも、「お客様の飛躍に寄与できる価値を提供し続けるパートナーとして、ともに発展する。」を経営ビジョ

ンとし、デバイスからソフト開発を含めトータルソリューションにより、高い付加価値を提供してまいります。

企業概要	
社 名	八洲電子ソリューションズ株式会社
本 社	東京都港区芝二丁目7番17号 住友芝公園ビル TEL 03-3507-3142 FAX 03-3507-3977
創 立 年 月 日	2016年4月1日
代表取締役社長	芦田 敏
事 業 内 容	ルネサスエレクトロニクス製品の販売、日立パワーデバイス製品の販売、液晶モジュールの販売、ソフト・ハードの受託開発・受託製造、その他電子事業関連製品の販売
資 本 金	350百万円
株 主	八洲電機株式会社(100%出資)
U R L	http://www.yashimadenki.co.jp/yds/

営業 『第4回鉄道技術展』に出展

2015年11月11日(水)～13日(金)の3日間、幕張メッセで開催された『第4回鉄道技術展』に出展し、当社の鉄道技術をPRしました。当日は、交通部門のお客様をはじめ約800名の方に当社ブースにお立ち寄りいただき、デモ機等に直接触れていただきながらデモンストレーションを行いました。今後も、皆様よりいただいた貴重なお意見・ご要望をしっかりと受け止め、鉄道分野の設備工事・最先端の情報技術で、鉄道事業の「安全・安心・安定」に貢献してまいります。



その他 関西支店移転

2016年2月15日、大阪のビジネスの中心である淀屋橋に関西支店の事務所を移転しました。今回の移転ではフリーアドレスを導入し、新しいワークスタイルのなか、気持ちも新たにより一層のサービス向上に努めてまいります。今後も一致協力し、関西地区のお客様のニーズにお応えしてまいります。

ビル外観



その他 大分事業所開設

2016年3月24日、大分事業所の開所式を行いました。4月1日より業務を開始し、地域密着営業を推進してまいります。「お客様に喜んでいただく」をモットーに九州地区へのさらなる深耕と業容拡大に努めてまいります。

ビル外観



CSR CSRレポート

2016年度版「八洲のCSRレポート2016」を発行しました。本レポートでは、各事業部での環境・省エネ関連製品及びシステムの紹介、再生可能エネルギー事業の展開、環境保全等社会貢献活動、BCP(事業継続計画)等、当社でのCSR活動への取り組みを幅広く紹介しております。当社のホームページにも掲載しておりますので、是非ご覧ください。

■ホームページでご覧いただけます。

http://www.yashimadenki.co.jp/environment_04.php

八洲電機 活動報告

検索

2016年度版「八洲のCSRレポート2016」



組織 ダイバーシティ推進部設立

当社は、多様な人材が個々の能力を最大限発揮できる仕組みづくりを推進し、さらなる生産性向上を目指すため、2016年4月に「ダイバーシティ推進部」を設立しました。なかでも「女性活躍の推進」についてはホームページで目標を公表し、達成に向け全社をあげて推進活動に取り組んでおります。

今後も、社員全員が生き生きと働くことができる環境作りを推進してまいります。

■ホームページでご覧いただけます。

http://www.yashimadenki.co.jp/company_female.php

八洲電機 女性活躍推進の取り組み

検索



その他 創立70周年記念事業

当社は、本年創立70周年を迎えます。1946年に創業以来、経営理念である「信・愛・和」の精神で、多くのお客様をはじめとするステークホルダーの皆様との信頼関係を構築しながら、70周年を迎えることができました。そこで、この70周年を記念し、さまざまな事業を計画しております。

- 5月 社員の団結力を結集する八洲電機グループスポーツ大会開催
- 8月 創立70周年記念式典開催
- 9月 新本社ビル竣工
- 10月 社史の発刊(ダイジェスト版)

12月 社史の発刊(正史)

- 東日本大震災復興支援ボランティア活動「助けあいジャパン」に参加 活動時期 6月、11月(予定)
- 特定非営利活動法人「国境なき医師団日本」の医療支援活動への寄付 実施時期 5月
- 公益社団法人「国土緑化推進機構」へ豊かな森林づくり推進のための寄付 実施時期 5月

その他

速報 ワールドカップフィンスイミングマスターズ・プラハ大会に当社社員出場！

6月11日～12日にチェコスロバキア・プラハで開催された『World Cup FinSwimming Masters 2016』に当社の山内淳子社員が出場しました。結果の詳細は次号の株主通信でお知らせいたします。皆様からの温かいご声援ありがとうございました。



2015年8月 国内大会出場時の様子

会社の概況 (2016年3月31日 現在)

商 号	八洲電機株式会社 Yashima Denki Co., Ltd.
創 立	1946年8月8日
資 本 金	1,585百万円
従業員数	連結995名 単体690名
本 社	〒105-8686 東京都港区芝二丁目7番17号

役員 (2016年6月24日 現在)

代 表 取 締 役 会 長	落 合 憲
代 表 取 締 役 社 長	太 田 明 夫
常 務 取 締 役	白 石 誠 仁
取 締 役	今 町 和 至
取 締 役	石 澤 輝 之
取 締 役	大 関 一
取 締 役	齋 藤 勲
取締役（監査等委員）	樋 口 正 宏
取締役（監査等委員）	緑 川 晃 (社外)
取締役（監査等委員）	宮 直 仁 (社外)

主要拠点 (2016年6月24日 現在)

本 社	〒105-8686 東京都港区芝二丁目7番17号 住友芝公園ビル
西日本支社 （関西支店）	〒541-0042 大阪府大阪市中央区今橋三丁目3番13号 ニッセイ淀屋橋イースト4F
西日本支社 （中国支店）	〒730-0051 広島県広島市中区大手町三丁目8番1号 大手町中央ビル8F
岡 山 支 店	〒710-0824 岡山県倉敷市白楽町249番地5 倉敷商工会館5F

各事業所等

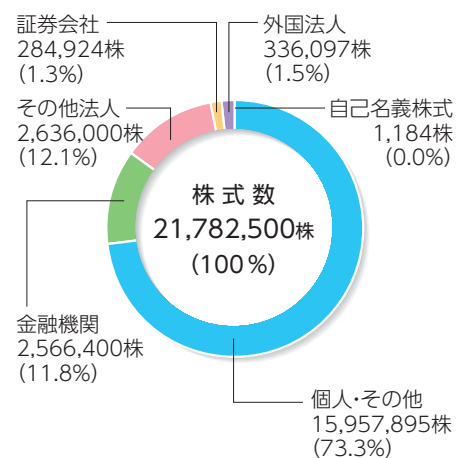
東北営業所、日立事業所、茨城営業所、鹿島営業所、千葉営業所、京浜事業所、知多営業所、堺営業所、倉敷事業所、水島事務所、福山事業所、東予事務所、呉事務所、周南事業所、大分事業所、福岡営業所、佐世保連絡所

- グループ会社
- 八洲電子ソリューションズ株式会社
〒105-8686 東京都港区芝二丁目7番17号 住友芝公園ビル
 - 株式会社ヤシマ・エコ・システム
〒116-0014 東京都荒川区東日暮里三丁目11番17号
 - ヤシマコントロールシステムズ株式会社
〒739-1752 広島県広島市安佐北区上深川町701番1号
 - 株式会社中国パワーシステム
〒730-0015 広島県広島市中区橋本町10番6号 広島NSビル3F
 - 株式会社テクノエイト
〒105-8686 東京都港区芝二丁目7番17号 住友芝公園ビル
 - Yashima Denki Singapore Pte.Ltd.
7 Tampines Grande,#02-02 Hitachi Square,Singapore 528736

株式の状況

発行可能株式総数	50,000,000 株
発行済株式総数	21,782,500 株
株 主 数	24,750 名

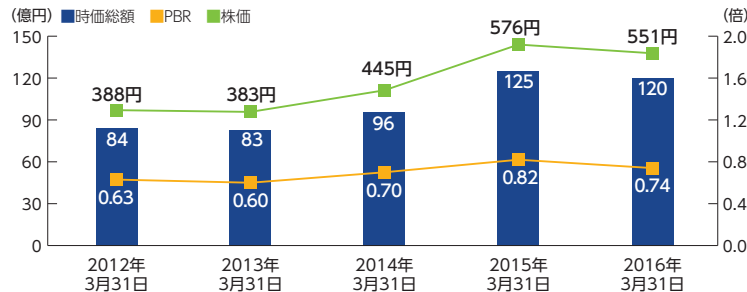
所有者別分布状況



大株主 (上位10名)

株 主 名	持株数(千株)	持株比率(%)
公益財団法人八洲環境技術振興財団	1,430	6.6
八洲電機従業員持株会	926	4.3
落 合 憲	646	3.0
日立アプライアンス株式会社	487	2.2
嶽 山 富美江	443	2.0
株式会社日立製作所(常任代理人資産管理サービス信託銀行株式会社)	400	1.8
落 合 永 二	395	1.8
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	350	1.6
株式会社三菱東京UFJ銀行	350	1.6
株式会社みずほ銀行(常任代理人資産管理サービス信託銀行株式会社)	350	1.6

株式関連指標



株主メモ	●上場取引所	東京証券取引所市場第一部
	●証券コード	3153
	●事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
	●定時株主総会	毎年6月
●株主確定日	定時株主総会	3月31日
	利益配当	3月31日及び中間配当を行うときは9月30日
	●公告方法	その他あらかじめ公告する一定の日 電子公告により行います。 公告掲載URL：http://www.yashimadenki.co.jp/ ※ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
	●1単元の株式数	100株
(2016年3月31日現在)		
●株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関		
三菱UFJ信託銀行株式会社		
●同連絡先		
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部		
〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号		
TEL：0120-232-711（フリーダイヤル）		
(ご注意)		
1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。		
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。		



■ 社名の由来

八洲電機の「八洲(ヤシマ)」とは、古事記や日本書紀に記されている、日本国の古称『大八洲』（八つの島）に由来し、創業者・落合完二の世界に通用する会社を築きたいという思いが込められています。

八洲の「八」は「末広がり」に通じるとともに、創業も8月8日であることから、社章のデザインにも採用し、末長い会社の発展を願ったものです。

インフォメーション

Information

株主還元

株主の皆様からのご支援に感謝し、投資魅力を高め、株式を長期間保有していただくため、配当を実施しております。

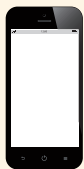
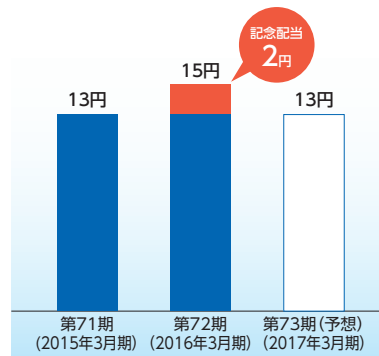
配当について

●権利確定日：毎年3月末 ●配当金額：1株当たり13円 第73期(2017年3月期) 予想

〈創立70周年記念配当について(第72期)〉

本年、当社は創立70周年を迎えます。これもひとえに、株主の皆様をはじめ、これまでお力添えいただいた関係者の皆様からの温かいご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

つきましては、これまでご支援いただきました株主の皆様に感謝の意を表すために創立70周年を記念いたしまして、2016年3月期の期末配当において、1株当たり13円の普通配当に加え、2円の記念配当を実施させていただくことといたしました。



ホームページのご案内

当社ホームページは、「**会社案内**」「**事業紹介**」「**株主・投資家の皆さまへ**」「**環境への取り組み**」等の各ページにおいて、当社に関するさまざまな情報を発信しております。

● スマートフォンでもご覧いただけます。▶ <http://www.yashimadenki.co.jp/>

八洲電機

検索

本社ビル建替え状況

(2016年4月21日に上棟しました！)

新本社ビルは、クリエイティブオフィスを創造し、1人当たりの生産性向上と収益力強化を図るとともに、最新の環境・省エネ技術を駆使した環境配慮型ビルの実現を目指し、2016年9月の竣工予定にて建設を進めております。



完成イメージ図

八洲電機株式会社 <http://www.yashimadenki.co.jp/>

〒105-8686 東京都港区芝二丁目7番17号 TEL.03-3507-3711

